

Global Mix

グローバルミックスの現況

特別勘定(変額保険用) 月次運用報告書(2008年7月)

日ごろは格別のお引き立てを頂き、誠に有り難く御礼申し上げます。
2008年7月における特別勘定(変額保険用)の運用状況をご報告致します。
なお、毎月の運用状況は、弊社ホームページにおいてもご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.axa.co.jp/life/>

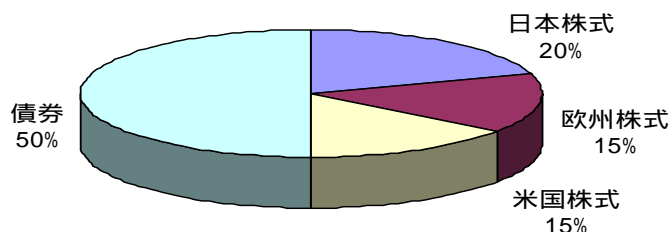
特別勘定の運用方針

日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長を目指します。為替リスクは、原則として、フルヘッジします。基本的な資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。特別勘定の運用は、各投資信託(ファンド)の買付けを含め、アクサ生命保険株式会社投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チームが行います。特別勘定の運用においては、アクサ・グループの運用会社(運用協力会社)の運用するファンドを買付けます。運用協力会社およびファンドは、今後予告なく変更される可能性があります。変更については、随時お知らせいたします。各ファンドの資産配分比率は、金融情勢、経済動向などにより変更することがあります。

目次

特別勘定の運用方針	1
運用協力会社のご紹介	1
運用環境について	2
特別勘定の資産内容について	3
各ファンドについて	4-6
注意事項	6
契約月別の運用実績の例	7-9

(グローバルミックスの資産配分比率)



* 上記は設定当初の資産配分比率です。
* 資産配分比率は、将来的には変更されることがあります。

運用協力会社(ファンドの運用会社)のご紹介

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社

アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

- ・当該資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・また、予告なしに当該資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・当該資料は、当社の変額保険の運用状況などを開示するためのものであり、生命保険契約の勧誘を目的としたものではありません。
- ・当該資料の運用実績に関する内容は過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当該資料に記載されている各表にある金額、比率等はそれぞれの項目を四捨五入等をしてしていますので、合計等と合致しないことがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

運用環境について(2008年7月)

【日本株式市場】

日本株式市場の主要株価指数の当月末終値は、日経平均が 0.78%の13,376円81銭、TOPIXが 1.25%の1,303.62ポイントとなりました。月初発表された日銀短観で国内景況感の悪化が鮮明になったことや米金融不安などにより日本株式市場は下落して始まり、月半ばの16日には、日経平均で12,671円34銭まで下落しました。その後、米金融機関の決算が想定内となり金融不安が後退したことや原油市場の下落、また円安を受け、金融や輸出関連に買い戻しが入り、日本株式市場は反転しました。月末にかけては、国内企業の4 - 6月期決算を受けた利食い売りから下落し、前月比で小幅安の水準で引けました。

前月に引き続き、中小不動産業全般が売られる展開となりました。東証2部及び日経ジャスダック平均は、それぞれ 3.70%と 2.97%となっています。東証33業種の動きでは、当月は石油下落と景気悪化懸念の影響が強く出ました。上位業種はゴム製品(+6.48%)、食料品(+6.21%)、医薬品(+5.68%)となりました。下位業種は鉱業(16.74%)、ガラス・土石製品(8.00%)、海運業(7.99%)となりました。

【米国株式市場】

米国株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、S&P500種株価指数は 0.99%、ダウ平均株価は+0.25%、ナスダック指数は+1.42%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月前半は、住宅市場の調整に伴い、政府系住宅金融機関(GSE)が大幅な評価損を計上する可能性が高まったとの見方や住宅ローン大手インディーマック・バンコプが破綻したことを背景に信用不安が高まり、下落基調が続きました。月後半に入ると、銀行大手ウェルズ・ファーゴやJPモルガンの決算が市場予想を上回ったことに加え、証券取引委員会(SEC)が一部金融機関の株式に対する空売りを規制したこと、またGSEの救済策を盛り込んだ法案が好感され、急反発しました。その後、住宅市場の先行き不透明感から一時下落したものの、ADP雇用統計や消費者信頼感指数が市場予想を上回ったことが好感され、値を戻す展開となりました。

【欧州株式市場】

欧州株式市場の主要株価指数の月間騰落率は、MSCI欧州株価指数は 1.99%、英FT100指数は 3.80%、仏CAC指数は 0.96%、独DAX指数は +0.95%となりました(いずれも現地通貨ベース)。

月前半は、金融機関の資金繰り懸念から、金融株式が大幅に下落しました。しかし、米連邦準備制度理事会(FRB)とポールソン米国財務長官による米政府系住宅金融機関(GSE)に対する支援策が発表されたことや、証券取引委員会(SEC)が一部金融機関の株式に対する空売りを規制したことなどから、金融株式が大幅に買い戻され、欧州株式市場も反発しました。一方、上昇していた原油価格や資源価格が反落し、石油や素材セクターは下落しました。その後月末にかけても、金融株式の上昇は続きましたが、前半の下落幅が大きかったことから、月間では、マイナスとなりました。

【国内債券市場】

国内債券市場は、月初は、日銀短観が弱めの数字ながら市場予想よりは上振れしたことや、6月末の金利低下の反動から、金利は上昇(債券価格は下落)して始まりました。しかし、10年国債利回りが1.7%近くを付けた後は、5年国債入札が順調だったことや米政府系住宅金融機関(GSE)等の金融不安、日米株安などを材料に、金利は低下(債券価格は上昇)しました。月後半は、米住宅金融2社の支援法がまとまる見込みとなったことや米金融機関の4 - 6月期決算が事前予想より良かったこと、原油価格の調整などから、金利は上昇(債券価格は下落)に転じました。その後発表された6月中古住宅販売が予想より大きく悪化したことや独ifo企業景況感指数の低下を受け、米欧債券が選好されました。月末にかけては、日銀の景気見通しの下方修正やインフレ見通しの上方修正を受け、両リスクを意識しながらも、世界的な債券市場の堅調地合いを受けて、1.5%半ばまで金利は再び低下(債券価格は上昇)する動きとなりました。

(参考指標)

		2008年6月末	2008年7月末	変化率
日本	TOPIX(東証株価指数)	1,320.10 ポイント	1,303.62 ポイント	-1.25%
	日経平均	13,481.38 円	13,376.81 円	-0.78%
	新発10年国債	1.610 %	1.530 %	0.080低下
米国	NYダウ	11,350.01 ドル	11,378.02 ドル	0.25%
	S&P500	1,280.00 ポイント	1,267.38 ポイント	-0.99%
	NASDAQ	2,292.98 ポイント	2,325.55 ポイント	1.42%
	10年国債	3.969 %	3.946 %	0.023低下
欧州	FT100	5,625.90 ポイント	5,411.90 ポイント	-3.80%
	CAC40	4,434.85 ポイント	4,392.36 ポイント	-0.96%
	DAX	6,418.32 ポイント	6,479.56 ポイント	0.95%
	独10年国債	4.621 %	4.355 %	0.266低下
為替	米ドル/円レート	106.42 円	108.12 円	1.60%円安
	ユーロ/円レート	168.07 円	168.47 円	0.24%円安

* 各国10年国債は、ジェネリック日本指標国債10年単利(日本)、ジェネリック米国利回り10年(米国)、ドイツ国債10年の利回り(欧州)を表示しております。

* 為替は、株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値を採用しております。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

特別勘定の資産内容について(2008年7月)

【特別勘定のINDEXの推移】

「特別勘定のINDEX」とは、弊社が変額保険「Global Mix」に係る資産の管理・運用を行っている特別勘定の資産運用状況を表す指数をいいます。この数値は毎日増減し、ご契約の積立金の金額もこれにともない増減いたします。



日付	INDEX
07/08/31	0.993
07/09/30	1.007
07/10/31	1.009
07/11/30	0.982
07/12/31	0.978
08/01/31	0.935
08/02/29	0.941
08/03/31	0.914
08/04/30	0.947
08/05/31	0.959
08/06/30	0.927
08/07/31	0.922

【騰落率】

過去1ヶ月	過去6ヶ月	過去1年	過去2年	過去3年	設定来
-0.54%	-1.44%	-8.44%	-3.15%	3.44%	-7.82%

注) 設定日である2000年8月1日を1.00としたパフォーマンスを示しています。

注) 騰落率とは、一定期間における運用実績の変動率のことです。

注) 上記の数値は過去の運用実績であり、将来の結果をお約束するものではありません。

注) この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられるものを控除した部分の伸び率です。

【特別勘定資産の内訳】

項目	金額 (千円)	構成比 (%)
預貯金・コールローン	710,005	2.0
日本株式型投資信託 (アクサR)	3,513,312	9.8
日本株式型投資信託 (アクサR)	5,228,609	14.5
米国株式型投資信託(アクサR)	5,333,960	14.8
欧州株式型投資信託(アクサR)	3,477,405	9.7
日本債券型投資信託(アクサR)	17,161,398	47.7
その他	564,861	1.6
特別勘定合計	35,989,553	100.0

注) 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第2位を四捨五入しておりますが、合計値に対する調整は行っておりません。

【保有契約高】

項目	件数 (件)	金額 (千円)
有期型	1,098	2,535,888
終身型	55,004	294,231,548
合計	56,102	296,767,437

注) 金額の単位未満は切り捨てとしました。

【特別勘定の解説】

当特別勘定は原則として、50%を安全資産での運用にしております。

積極的な運用を目指す株式部分は、当面日本株で全体の25%、欧米株式で25%の資産配分といたします。

リスク分散の観点から、少数銘柄に偏ることなく、資産種類および各資産ごとの分散投資を心掛け、バランスのとれた運用を行います。

【今後の運用方針】

特別勘定の運用資産における株式と債券の組入れ比率は現行水準を継続します。また、投資対象を幅広く分散することでより安定的な運用を行ってまいります。

(アクサ生命保険株式会社 投資性プロフィットセンター ファンドマネジメント・チーム)



日本株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に投資することで、安定的にベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 1.25%であったのに対し、当ファンドは、1.42%となりました。
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことがプラスに寄与しました。
運用会社独自の業種別では、相対的に下落した機械を多めに保有していたことや、上昇した薬品、不動産を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。
個別銘柄では、相対的に下落した日東電工(6988)を少なめに保有したこと、ダイキン工業(6367)を保有していなかったことや、上昇した新日本製鐵(5401)をベンチマークに比較して多めに保有していたことなどはいずれもプラスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



	銘柄	業種	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.8%
2	トヨタ自動車	輸送用機器	3.6%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.2%
4	日本電信電話	情報・通信業	1.9%
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.7%
6	三菱商事	卸売業	1.7%
7	キヤノン	電気機器	1.6%
8	任天堂	その他製品	1.6%
9	本田技研工業	輸送用機器	1.6%
10	新日本製鐵	鉄鋼	1.5%
合計			21.2%
組入銘柄数			459銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

日本バリュー株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: わが国の証券取引所上場株式および店頭登録銘柄に投資し、信託財産の中・長期的な成長を目指します。割安でかつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用成果を目指します。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: TOPIX

【運用状況】

当月は、ベンチマークであるTOPIXが 1.25%であったのに対し、当ファンドは、2.25%となりました。
当月の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークに比較して多めに保有していたことがプラスに寄与しました。
運用会社独自の業種別では、相対的に下落した総合商社、石油を多めに保有していたことや、上昇した薬品をベンチマークに比較して少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。
個別銘柄では、下落した国際石油開発帝石ホールディングス(1605)、東芝(6502)や三菱商事(8058)などをベンチマークに比較して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。

【今後の運用方針】

当ファンドの運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを中・長期的に上回る運用を目指します。
割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本株式運用チーム)



	銘柄	業種	比率
1	日本電信電話	情報・通信業	3.5%
2	三菱商事	卸売業	3.2%
3	三井物産	卸売業	3.1%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.9%
5	日立製作所	電気機器	2.7%
6	ジェイ・エフ・イー・ホールディングス	鉄鋼	2.6%
7	トヨタ自動車	輸送用機器	2.6%
8	日産自動車	輸送用機器	2.5%
9	東芝	電気機器	2.3%
10	富士通	電気機器	2.3%
合計			27.7%
組入銘柄数			378銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

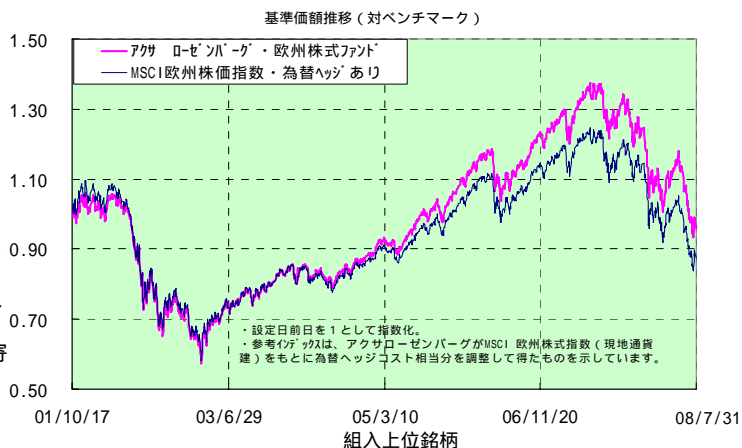
欧州株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(欧州約3,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
 「アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: MSCI 欧州株価指数(為替ヘッジあり)

[運用状況]

当月はベンチマークであるMSCI欧州株価指数が 1.53%であったのに対し、当ファンドは 2.61%となりました。
 当月の欧州株式市場は、金利の上昇懸念から、債務借入の大きい企業が相対的に下落する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークと比較して少なめに保有していたことはプラスに寄与しました。
 運用会社独自の業種別では、下落した石油メジャーや金属をベンチマークと比較して多めに保有していたことや、上昇した薬品を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。
 個別銘柄では、下落した素材のアングロー・アメリカンPLC(イギリス)、エネルギーのロイヤル・ダッチ・シェル(オランダ)、スタイルハイドロ(ノルウェー)をベンチマークと比較して多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。



[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
 割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	BP PLC	エネルギー	3.0%
2	トタル SA	エネルギー	2.5%
3	エーオン	公益事業	2.1%
4	HSBC ホールディングス PLC	銀行	2.0%
5	ネスレ	食品・飲料・タバコ	1.7%
6	ENI SPA	エネルギー	1.7%
7	アングロー・アメリカン PLC	素材	1.5%
8	アリアンツ	保険	1.5%
9	ボーダフォン・グループ PLC	電気通信サービス	1.4%
10	ノバルティス AG-REG SHS	医薬品・バイオテクノロジー	1.4%
合計			18.8%
組入銘柄数			297銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

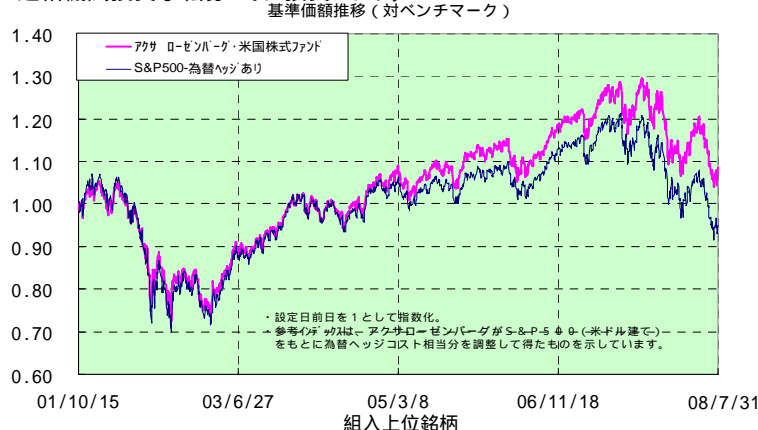
米国株式ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

[運用方針]: 幅広い投資対象(米国約6,500社が対象)を一貫した統計的手法で分析し、独自のクオンツモデルによる銘柄選択を行い且つ、リスクを限定しつつ安定的にベンチマークを上回ることを目標とします。
 「アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) <適格機関投資家私募>」に投資します。

[ベンチマーク]: S & P 500(為替ヘッジあり)

[運用状況]

当月はベンチマークであるS&P500種株価指数が+0.29%であったのに対し、当ファンドは 0.15%となりました。
 当月の米国株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当ファンドではこれらの銘柄をベンチマークと比較して少なめに保有していたことは、マイナスに寄与しました。
 運用会社独自の業種別では、下落した石油メジャー、石油サービスをベンチマークと比較して多めに保有していたことや、上昇したその他金融を少なめに保有していたことはいずれもマイナスに寄与しました。
 個別銘柄別では、上昇した家庭用品・パーソナル用品のエイボン・プロダクツ、運輸のユニオン・パシフィック・コーポレーションやテクノロジー製品・機器のIBMなどをベンチマークと比較して多めに保有していたことはプラスに寄与しました。



[今後の運用方針]

当ファンドの運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。
 割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行うことを基本とします。

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

	銘柄	業種	比率
1	エクソン・モービル	エネルギー	4.6%
2	ゼネラル・エレクトリック	資本財	2.2%
3	シェブロン	エネルギー	2.1%
4	IBM	テクノロジー製品・機器	2.1%
5	アップルINC	テクノロジー製品・機器	1.9%
6	シュルンベルジェ	エネルギー	1.8%
7	コノフィリップス	エネルギー	1.7%
8	ファイザー	医薬品・バイオテクノロジー	1.6%
9	マイクロソフト	ソフトウェア・サービス	1.6%
10	プロクター・アンド・ギャンブル	家庭用品・パーソナル用品	1.5%
合計			21.1%
組入銘柄数			277銘柄

*上記比率は、投資信託組入全銘柄に対する比率となります。

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777(代表)
 編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

日本債券ファンド(運用会社:アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社)

【運用方針】: 主としてわが国ならびに外国の公社債投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
「アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) <適格機関投資家私募>」に投資します。

【ベンチマーク】: 日興債券パフォーマンス・インデックス中期総合

【運用状況】

当月の当ファンドは+0.39%となり、ベンチマークは+0.36%となりました。景気、物価情勢は日銀が見通しを修正したように、景気は減速傾向が強まり、物価は上昇傾向を強めています。消費は依然弱く、輸入コストの増加により企業景況感も悪化しています。インフレ懸念の台頭による金利上昇リスクがある一方で、米国の信用力の低い個人向け住宅融資(サブプライムローン)問題や金融不安、米国景気減速懸念、及び国内景気悪化懸念が金利低下を促す可能性も強く、どちらか一方の見通しを描くことは難しいと判断しました。従って、デュレーション・ポジションには中立的なバイアスで臨みました。しかし、月央までは金利が低下したことから、デュレーションの長期化を行いました。この戦略はパフォーマンスにプラス寄与となりました。中長期的なインフレ懸念を考慮したインフレ連動国債買い持ちポジションは、マイナス寄与となったものの、社債等の対国債利回り較差が落ち着きを取り戻し、縮小傾向となったことや、政府関連法人等相対的に信用度の高い新発債の購入を行ったことが、小幅ながらプラスに寄与しました。



【今後の運用方針】

中長期的には、景気、物価情勢は、概ね日銀の展望に沿う形で推移しています。しかし、米サブプライムローン問題や金融不安等の不確定要素が残り、日銀は、依然としてそれらの点を注視しながらの金融政策運営を行っており、政策金利の据え置きを続けています。また、日銀は、このところ減速感が強まっている国内景気への配慮もしながらの金融政策運営が必要となっています。よって、当ファンドでは、国内要因、外的要因の影響等を注視し、金融政策への影響も考慮しつつ運用を行っていく方針です。

信託財産の構成

	組入比率	デュレーション
公社債	99.8%	4.43年
短期資産等*	0.2%	74.63年
合計	100.0%	4.55年

*債券先物を含む

信託財産の内訳

	組入比率	デュレーション
国債	80.4%	4.82年
地方債	0.0%	0.00年
特殊・財投債	4.8%	3.39年
金融債	0.5%	1.88年
社債等	14.1%	2.63年
コールローンその他*	0.2%	74.63年
合計	100.0%	4.55年

*債券先物を含む

公社債の格付別構成比率

格付区分**	構成比率
AAA	5.3%
AA	89.8%
A	4.4%
BBB	0.5%
BB以下	0.0%
合計	100.0%

** S&P格付を優先

(アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社 日本債券運用チーム)

注)ここでは、特別勘定から買付けるファンドのパフォーマンスを評価しています。特別勘定自体のINDEXではないことにご注意ください。

注意事項

変額保険の仕組み
 変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとじて変動する生命保険です。
 *特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて
市場リスク
 特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク
 万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合。但し、有期型の場合は、保険期間10年)

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-377	1,000	-341	-7.82	-1.01
平成12年 9月 1日	1,000	-385	1,000	-349	-9.18	-1.21
平成12年 10月 1日	1,000	-362	1,000	-327	-6.59	-0.87
平成12年 11月 1日	1,000	-343	1,000	-309	-4.47	-0.59
平成12年 12月 1日	1,000	-321	1,000	-288	-2.03	-0.27
平成13年 1月 1日	1,000	-301	1,000	-269	0.13	0.02
平成13年 2月 1日	1,000	-313	1,000	-280	-1.70	-0.23
平成13年 3月 1日	1,000	-276	1,000	-245	2.50	0.33
平成13年 4月 1日	1,000	-255	1,000	-225	4.80	0.64
平成13年 5月 1日	1,000	-279	1,000	-248	1.46	0.20
平成13年 6月 1日	1,000	-271	1,000	-240	2.09	0.29
平成13年 7月 1日	1,000	-256	1,000	-226	3.51	0.49
平成13年 8月 1日	1,000	-229	1,000	-200	6.55	0.91
平成13年 9月 1日	1,000	-189	1,000	-161	11.13	1.54
平成13年 10月 1日	1,000	-140	1,000	-114	16.81	2.30
平成13年 11月 1日	1,000	-156	1,000	-130	14.41	2.01
平成13年 12月 1日	1,000	-161	1,000	-134	13.36	1.90
平成14年 1月 1日	1,000	-161	1,000	-134	13.01	1.87
平成14年 2月 1日	1,000	-132	1,000	-107	16.09	2.32
平成14年 3月 1日	1,000	-139	1,000	-113	14.80	2.17
平成14年 4月 1日	1,000	-153	1,000	-127	12.71	1.91
平成14年 5月 1日	1,000	-145	1,000	-119	13.20	2.00
平成14年 6月 1日	1,000	-147	1,000	-121	12.55	1.94
平成14年 7月 1日	1,000	-109	1,000	-83	16.91	2.60
平成14年 8月 1日	1,000	-73	1,000	-48	20.97	3.22
平成14年 9月 1日	1,000	-69	1,000	-44	20.96	3.27
平成14年 10月 1日	1,000	-39	1,000	-13	24.40	3.81
平成14年 11月 1日	1,000	-35	1,000	-10	24.39	3.87
平成14年 12月 1日	1,000	-49	1,000	-23	22.23	3.61
平成15年 1月 1日	1,000	-20	1,000	5	25.43	4.14
平成15年 2月 1日	1,000	6	1,000	33	28.43	4.65
平成15年 3月 1日	1,000	14	1,000	41	28.94	4.80



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	19	1,000	46	29.09	4.90
平成15年 5月 1日	1,000	3	1,000	29	26.46	4.57
平成15年 6月 1日	1,000	-9	1,000	16	24.29	4.30
平成15年 7月 1日	1,000	-27	1,000	-1	21.67	3.93
平成15年 8月 1日	1,000	-36	1,000	-10	20.13	3.74
平成15年 9月 1日	1,000	-43	1,000	-18	18.80	3.57
平成15年 10月 1日	1,000	-44	1,000	-18	18.27	3.53
平成15年 11月 1日	1,000	-53	1,000	-28	16.65	3.30
平成15年 12月 1日	1,000	-48	1,000	-23	16.84	3.39
平成16年 1月 1日	1,000	-58	1,000	-33	15.26	3.15
平成16年 2月 1日	1,000	-68	1,000	-43	13.62	2.88
平成16年 3月 1日	1,000	-78	1,000	-53	12.01	2.60
平成16年 4月 1日	1,000	-89	1,000	-65	10.22	2.27
平成16年 5月 1日	1,000	-86	1,000	-62	10.17	2.31
平成16年 6月 1日	1,000	-75	1,000	-50	11.13	2.57
平成16年 7月 1日	1,000	-84	1,000	-60	9.63	2.28
平成16年 8月 1日	1,000	-65	1,000	-41	11.42	2.74
平成16年 9月 1日	1,000	-64	1,000	-39	11.19	2.75
平成16年 10月 1日	1,000	-62	1,000	-37	11.02	2.76
平成16年 11月 1日	1,000	-56	1,000	-31	11.26	2.89
平成16年 12月 1日	1,000	-65	1,000	-41	9.80	2.58
平成17年 1月 1日	1,000	-78	1,000	-53	7.96	2.16
平成17年 2月 1日	1,000	-75	1,000	-51	7.85	2.18
平成17年 3月 1日	1,000	-87	1,000	-62	6.15	1.76
平成17年 4月 1日	1,000	-85	1,000	-61	5.96	1.75
平成17年 5月 1日	1,000	-67	1,000	-43	7.57	2.27
平成17年 6月 1日	1,000	-75	1,000	-51	6.26	1.94
平成17年 7月 1日	1,000	-85	1,000	-60	4.82	1.54
平成17年 8月 1日	1,000	-93	1,000	-69	3.44	1.13
平成17年 9月 1日	1,000	-97	1,000	-73	2.67	0.91
平成17年 10月 1日	1,000	-124	1,000	-101	-0.75	-0.26
平成17年 11月 1日	1,000	-116	1,000	-92	-0.20	-0.07
平成17年 12月 1日	1,000	-136	1,000	-135	-2.78	-1.05
平成18年 1月 1日	1,000	-149	1,000	-148	-4.53	-1.78
平成18年 2月 1日	1,000	-158	1,000	-157	-5.86	-2.39



アクサ生命保険株式会社

〒108-8020 東京都港区白金1-17-3 TEL 03-6737-7777 (大代表)

編集・発行 アクサ生命保険株式会社 契約管理センター

契約日	終身型		有期型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成18年 3月 1日	1,000	-150	1,000	-149	-5.37	-2.26
平成18年 4月 1日	1,000	-155	1,000	-154	-6.22	-2.71
平成18年 5月 1日	1,000	-150	1,000	-149	-6.02	-2.72
平成18年 6月 1日	1,000	-117	1,000	-116	-2.80	-1.30
平成18年 7月 1日	1,000	-116	1,000	-116	-3.13	-1.51
平成18年 8月 1日	1,000	-113	1,000	-113	-3.15	-1.59
平成18年 9月 1日	1,000	-127	1,000	-149	-5.02	-2.65
平成18年 10月 1日	1,000	-125	1,000	-144	-5.08	-2.80
平成18年 11月 1日	1,000	-126	1,000	-142	-5.53	-3.20
平成18年 12月 1日	1,000	-123	1,000	-138	-5.66	-3.43
平成19年 1月 1日	1,000	-138	1,000	-149	-7.50	-4.80
平成19年 2月 1日	1,000	-144	1,000	-153	-8.47	-5.73
平成19年 3月 1日	1,000	-142	1,000	-149	-8.65	-6.18
平成19年 4月 1日	1,000	-139	1,000	-143	-8.64	-6.55
平成19年 5月 1日	1,000	-142	1,000	-144	-9.34	-7.55
平成19年 6月 1日	1,000	-148	1,000	-147	-10.23	-8.83
平成19年 7月 1日	1,000	-142	1,000	-142	-10.00	-9.27
平成19年 8月 1日	1,000	-124	1,000	-124	-8.44	-8.44

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

- (2) 契約月別運用実績は、契約時点に特別勘定に投入した金額の平成20年7月末までの運用実績を示したものです。
 なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。
- (3) 年複利は、契約月別運用実績を年複利換算したものです。

